

# 理 学 部

数 学 科  
化 学 科

# 履修の手引と手続

## I 授業科目について

理学部における授業科目は基本科目、専門科目、関連科目からなり立っている。その他、教員志望者のための教職関連科目（自由科目）がある。

## II 授業科目の単位と認定

本学では単位制が採用されている。単位制とは、一つ一つの授業科目に一定の基準により定められた単位があり、履修した授業科目に対して、試験その他の方法により学習評価をしたうえでその単位を認定する制度である。

単位認定の評価は、S・A・B・Cにより単位を修得したことを示す。

## III 卒業について

卒業可能最低単位数は、次の表に示すとおりである。

[ただし、教職関連科目（自由科目）は一部の科目を除き卒業するために必要とする単位数に含まれない]

第1表 (2013年度入学生より適用)

理学部 数学科	系 列		単位数
	基 本 科 目		12
	専 門 科 目	必 修	36
		選 択	52
	関 連 科 目		18
	専 門 選 択 科 目, 関 連 科 目 の 中 か ら		6
	計		124

第2表 (2022年度入学生より適用)

理学部 化学科	系 列		単 位 数
	基 本 科 目		12
	専 門 科 目	必 修	30
		選 択*	68
	関 連 科 目		18
	計		128
* 選択の中には2年次に配分されている指定された13科目（*印）のうち14単位以上、および4年次配当の科目を2科目4単位以上を含むこと。			

#### Ⅳ 学科別授業科目の学年配当と修得すべき単位数

##### 数 学 科

##### 1. 基本科目

基本科目は必修科目であるから必ず修得しなければならない。

第3表 (2018年度入学生より適用) ※単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系 列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
基 本 科 目	コミュニケーション基礎英語 A	②				12単位	
	コミュニケーション基礎英語 B	②					
	コミュニケーション基礎英語 C	②					
	コミュニケーション基礎英語 D	②					
	フレッシュマンセミナー I	②					
	フレッシュマンセミナー II	②					

##### 2. 専門科目

(1) 専門科目は必修科目、選択科目に分かれている。

イ. 必修科目は基礎的な科目から始まり、漸次各論的な科目におよぶようになっている。

(単位数に○印のあるのがこれに該当する)

ロ. 選択科目は、自分が将来志望する方面や活動の面を考えて、一つの系統を立てて選択履修すべきである。

(2) 履修規定 (2019年度入学生より適用)

イ. 3年次生の専門科目を受講するためには、次の条件をすべて満たしていなければならない。

① 1年次に配当されている基本科目の「フレッシュマンセミナー I, II」を修得していること。

② 1, 2年次に配当されている専門科目 (必修・選択) の修得単位の合計が 34 単位以上であること。

③ 1年次に配当されている専門必修科目をすべて修得していること、または 1, 2年次配当の専門必修科目を 20 単位以上修得していること。

また、「数学科教育法 A, B, C, D」, 「情報科教育法 A, B」を受講するためにも同じ条件を満たすこと。

ロ. 4年次で「数学セミナー」を受講するためには、次の授業科目の単位を修得していなければならない。

① 1, 2年次に開講された専門必修科目

② 3, 4年次配当の専門選択科目を 1 科目以上含み、専門選択科目 40 単位以上

第4表 (2022年度入学生より適用) ※単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
専	微分積分学ⅠA	④				(必修) 36単位  (選択) 52単位以上 選択必修	専門選択科目52単位 以外に専門選択科目 および関連科目から 6単位以上修得する こと
	微分積分学ⅠB	④					
	線型代数学ⅠA	④					
	線型代数学ⅠB	④					
	初等解析学	2					
	離散数学	2					
	プログラミング入門	2					
	計算機入門Ⅰ	2					
	計算機入門Ⅱ	2					
	社会数理Ⅰ	2					
社会数理Ⅱ	2						
計算科学Ⅰ	2						
計算科学Ⅱ	2						
門	微分積分学Ⅱ		④				
	線型代数学Ⅱ		④				
	代数学基礎		④				
	解析学		4				
	幾何学		4				
	代数学		4				
	位相数学Ⅰ		2				
	位相数学Ⅱ		2				
	統計数学Ⅰ		2				
	統計数学Ⅱ		2				
	計算機数学Ⅰ		2				
	計算機数学Ⅱ		2				
	数値解析基礎		2				
	目	プログラミングⅠ		2			
		プログラミングⅡ		2			
		コンピュータによる統計		2			
		数式処理による解析		2			
アドヴァンストセミナーⅠ				2			

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
専 門 科 目	アドヴァンストセミナーⅡ			2			
	実解析Ⅰ			2			
	実解析Ⅱ			2			
	関数解析Ⅰ			2			
	関数解析Ⅱ			2			
	微分方程式論Ⅰ			2			
	微分方程式論Ⅱ			2			
	複素関数論Ⅰ			2			
	複素関数論Ⅱ			2			
	代数学統論ⅠA			2			
	代数学統論ⅠB			2			
	代数学統論ⅡA			2			
	代数学統論ⅡB			2			
	幾何学統論ⅠA			2			
	幾何学統論ⅠB			2			
	幾何学統論ⅡA			2			
	幾何学統論ⅡB			2			
	応用プログラミングⅠ			2			
	応用プログラミングⅡ			2			
	AI アルゴリズム論Ⅰ			2			
	AI アルゴリズム論Ⅱ			2			
	情報数学Ⅰ			2			
	情報数学Ⅱ			2			
	数式処理による代数Ⅰ			2			
	数式処理による代数Ⅱ			2			
	応用統計数学Ⅰ			2			
	応用統計数学Ⅱ			2			
	暗号理論Ⅰ			2			
	暗号理論Ⅱ			2			
	符号理論Ⅰ			2			
	符号理論Ⅱ			2			

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
専 門	応用数値解析Ⅰ			2			
	応用数値解析Ⅱ			2			
	応用社会数理			2			
	数学特論Ⅰ			2			
	数学特論Ⅱ			2			
	解析学特別講義Ⅰ			2			
	解析学特別講義Ⅱ			2			
	解析学特別講義Ⅲ			2			
	解析学特別講義Ⅳ			2			
	代数学特別講義Ⅰ			2			
	代数学特別講義Ⅱ			2			
	代数学特別講義Ⅲ			2			
	代数学特別講義Ⅳ			2			
	幾何学特別講義Ⅰ			2			
	幾何学特別講義Ⅱ			2			
	幾何学特別講義Ⅲ			2			
	幾何学特別講義Ⅳ			2			
	科	トポロジー特別講義Ⅰ			2		
		トポロジー特別講義Ⅱ			2		
		トポロジー特別講義Ⅲ			2		
トポロジー特別講義Ⅳ				2			
統計数学特別講義Ⅰ				2			
統計数学特別講義Ⅱ				2			
数理モデル論Ⅰ				2			
数理モデル論Ⅱ				2			
情報システム論Ⅰ				2			
情報システム論Ⅱ				2			
目	数学研究Ⅰ			2			
	数学研究Ⅱ			2			
	情報研究Ⅰ			2			
	情報研究Ⅱ			2			
	数学セミナー				⑧		

### 3. 関連科目

(1) 関連科目は任意に選択することができる。

(2) 自由科目には、関連科目として卒業に必要な単位数に算入できるものがある(第6表参照)。

第5表 (2022年度入学生より適用)

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
関 連 科 目	古典と思想	2				18単位以上 選択必修	関連科目 18 単位以外 に専門選択科目およ び関連科目から 6 単 位以上修得すること
	思想と人間	2					
	倫理とは何か	2					
	倫理と社会	2					
	論理と真理	2					
	合理的思考	2					
	近世の日本史 I	2					
	近世の日本史 II	2					
	日本の文学 I	2					
	地域と風土	2					
	地域と生産	2					
	現代社会と法 I (日本国憲法)	2					
	現代社会と法 II (国際法を含む)	2					
	文化研究 I	1					
	文化研究 II	1					
	社会学 A	2					
	社会学 B	2					
	心理学 I	2					
	心理学 II	2					
	数学序論	2					
物理学	4						
化学	4						
生物学 A	2						
生物学 B	2						
地学 A	2						
地学 B	2						
ジェンダー文化論	2						

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
関 連 科 目	コンピュータ・リテラシーⅠ	2					
	コンピュータ・リテラシーⅡ	2					
	論理回路入門		2				
	IT論入門			2			
	データサイエンス入門	2					
	データサイエンスと数理統計			2			
	機械学習と AI			2			
	データサイエンス特別講義Ⅰ			2			
	データサイエンス特別講義Ⅱ			2			
	応用 AI プログラミング			2			
	社会科学におけるデータサイエンス			2			
	ゲーム理論と AI			2			
	定量的政策評価			2			
	金融データ分析			2			
	世界の中の日本 A	2					
	世界の中の日本 B	2					
	地域と大学	2					
	グローバル社会と女性	2					
	女性とダイバーシティ (女性の働き方)	2					
	女性とキャリアデザイン (女性と企業)	2					
	国際グローバル研修	2					
	自校史研究 (建学の精神と大学の理念)	2					
	English Communication I A	2					
	English Communication I B	2					
	English Communication II A		2				
	English Communication II B		2				
	資格英語Ⅰ A	2					
	資格英語Ⅰ B	2					
	資格英語Ⅱ A	2					
	資格英語Ⅱ B	2					
	資格英語Ⅲ A	2					
	資格英語Ⅲ B	2					



系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
関 連 科 目	教養英語A	2					
	教養英語B	2					
	Public Communication I A	2					
	Public Communication I B	2					
	Oral English I A	2					
	Oral English I B	2					
	Oral English II A		2				
	Oral English II B		2				
	留学英語A	2					
	留学英語B	2					
	英語集中トレーニングA	4					
	英語集中トレーニングB	4					
	海外研修Ⅰ		2				
	海外研修Ⅱ		2				
	海外研修Ⅲ		2				
	海外研修Ⅳ		2				
	ドイツ語ⅠA	2					
	ドイツ語ⅠB	2					
	ドイツ語ⅡA		2				
	ドイツ語ⅡB		2				
	フランス語ⅠA	2					
	フランス語ⅠB	2					
	フランス語ⅡA		2				
	フランス語ⅡB		2				
中国語ⅠA	2						
中国語ⅠB	2						
中国語ⅡA		2					
中国語ⅡB		2					
中国語集中トレーニングⅠA	4						
中国語集中トレーニングⅠB	4						
中国語集中トレーニングⅡA		4					
中国語集中トレーニングⅡB		4					



#### 4. 教職関連科目（自由科目）

教職関連科目は学生の志望により選択履修できる。これらの科目は自由科目であり、一部の科目を除き卒業に必要な単位数に算入されない。教職課程の詳細については教育職員免許状取得のための課程の項を参照すること。

第6表（2022年度入学生より適用）

系列	授業科目	年次及び単位数				備考
		1	2	3	4	
教職 関連 科目	教育学概論A	2				* 印の科目は関連科目の分野に含め卒業に必要な単位数に算入することができる
	教職論	2				
	生徒指導（進路指導の理論及び方法を含む）		2			
	教育心理学		2			
	教育学概論B		2			
	教育方法及びICT指導法		2			
	特別支援教育		2			
	教育史		2			
	道徳教育の理論と指導法		2			
	教育課程論（総合的な学習の時間の指導法を含む）		2			
	学校と図書館		2			
	ジェンダー・教育・ダイバーシティ		2			
	スチューデント・インターンシップⅠ*		1			
	スチューデント・インターンシップⅡ*		1			
	スチューデント・インターンシップⅢ*			1		
	スチューデント・インターンシップⅣ*			1		
	特別活動論			2		
	教育相談（カウンセリングを含む）			2		
	数学科教育法A*			2		
	数学科教育法B*			2		
	数学科教育法C			2		
	数学科教育法D			2		
	情報科教育法A			2		
	情報科教育法B			2		
	介護等体験実習（事前及び事後指導を含む）			2		
	教職実践演習（中・高）				2	
	教育実習Ⅰ（事前及び事後指導を含む）				3	
教育実習Ⅱ				2		

#### 5. 履修単位の上限について（2014年度入学生より適用）

数学科では、次のように年次ごとの履修単位の上限がきまっているので、留意して履修申請を行うこと。

年次 単位数	1年次	2年次	3年次	4年次
履修単位の上限	50単位未満	50単位未満	50単位未満	50単位未満

- (1) 自由科目は履修上限に含まれない。
- (2) 編転入生については履修上限単位数を超えて履修することを認める場合がある。
- (3) JEAP留学生(短期語学研修を含む)については、履修上限単位数を別途定める。
- (4) 関連科目の外国語科目については、履修上限単位数を超えて履修することを認める場合がある。

## 化 学 科

### 1. 基本科目

基本科目は必修科目と選択科目からなる。キャリアデザインは選択科目であるが、全員履修することが望ましい。

第7表 (2018年度入学生より適用) ※単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得単位数	備 考
		1	2	3	4		
基本科目	コミュニケーション基礎英語 A	②				12単位	※ただし、キャリアデザインは専門選択科目として卒業単位数に算入することができる
	コミュニケーション基礎英語 B	②					
	コミュニケーション基礎英語 C	②					
	コミュニケーション基礎英語 D	②					
	化学基礎セミナー I	②					
	化学基礎セミナー II	②					
	キャリアデザイン*		2				

### 2. 専門科目

(1) 専門科目は必修科目、選択科目に分れている。

イ. 必修科目は基礎的な科目から始まり、漸次各論的科目におよぶようになっている。  
(単位数に○印のあるのがこれに該当する)

ロ. 選択科目は、自分が将来志望する方面や活動の面を考えて、系統を立てて選択履修すべきである。

(2) 履修規定 (2022年度入学生より適用)

イ. 2年次に配分されている専門必修科目を履修するためには、次の条件を満たしていなければならない。

① 1年次に配分されている基本科目および専門科目、関連科目の中から、26単位以上修得していること。ただし、関連科目の算入は18単位までとし、自由科目は含まない。

ロ. 3年次に配分されている専門必修の実験科目を履修するためには、次の条件を全て満たしていなければならない。

① 2年次に配分されている専門必修の実験科目をすべて修得していること。

② 1年次に配分されている基本科目および専門必修科目のすべてを修得していること。

ハ. 4年次に配分されている「化学ゼミナール・コロキウム」, 「卒業研究」および選択科

目を履修するためには、次の条件を全て満たしていなければならない。

- ① 卒業に必要な単位のうち3年次までに配分されている科目（基本科目12単位、関連科目18単位、専門必修科目22単位、専門選択科目64単位、計116単位）の修得単位の合計が108単位以上であること。
- ② 2年次に配分されている指定された選択必修科目13科目（\*印）のうち14単位以上を修得していること。
- ③ 3年次に配分されている専門必修の実験科目をすべて修得していること。

第8表（2022年度入学生より適用） ※単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
専 門 科 目	物質の変化 A	②				(必修) 30単位 (選択) 68単位以上 選択必修	
	物質の変化 B	②					
	分子と物質	④					
	基礎有機化学	②					
	基礎無機化学	②					
	物理学 I A	2					
	物理学 I B	2					
	化学数学 I	2					
	化学数学 II	2					
	自然科学概論	2					
	生命科学入門	2					
	基礎化学実験		②			13科目 (*印) の中より 14単位以上 選択必修	
	無機分析化学実験		②				
	物理化学 I A *		2				
	物理化学 I B *		2				
	有機化学 I A *		2				
	有機化学 I B *		2				
	無機化学 A *		2				
	無機化学 B *		2				
分析化学 A (データサイエンスを含む)*		2					
分析化学 B *		2					

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
専 門	生化学 A *		2			13 科 目 (*印) の中より 14単位以 上選択必 修	
	生化学 B *		2				
	エネルギー科学基礎*		2				
	エネルギー科学と社会*		2				
	情報科学序論*		2				
	コンピュータ入門 (演習含む)		2				
	生物学概論		2				
	物理学Ⅱ		2				
	地圏環境		2				
	化学数学Ⅲ		2				
	化学数学Ⅳ		2				
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む)		1				
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む)		1				
	地学実験 (コンピュータ活用を含む)		1				
科 目	物理化学実験 (コンピュータ活用を含む)			②			
	有機化学実験			②			
	生化学実験			②			
	物理化学Ⅱ A			2			
	物理化学Ⅱ B			2			
	物理化学Ⅲ			2			
	有機化学Ⅱ A			2			
	有機化学Ⅱ B			2			
	錯体化学Ⅰ			2			
	錯体化学Ⅱ			2			
	機器分析化学			2			
	分子生物学			2			
	外国書講読Ⅰ			2			
	外国書講読Ⅱ			2			
化学工学			2				

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
専 門 科 目	化学と社会			2		8科目の中 より4単位 以上選択必 修	
	高分子化学			2			
	量子化学			2			
	物質取扱技術			2			
	機能有機化学			2			
	結晶化学Ⅰ			2			
	結晶化学Ⅱ			2			
	生体機能生化学			2			
	バイオ技術			2			
	情報科学Ⅰ			2			
	情報科学Ⅱ			2			
	化学教育演習Ⅰ			2			
	環境科学Ⅰ			2			
	環境科学Ⅱ			2			
	生活と化学物質Ⅰ			2			
	生活と化学物質Ⅱ			2			
	卒業研究				⑥		
	化学ゼミナール・コロキウム				②		
	物質・情報科学特論 A				2		
	物質・情報科学特論 B				2		
合成化学特論 A				2			
合成化学特論 B				2			
生命化学特論 A				2			
生命化学特論 B				2			
一般科学特論 A				2			
一般科学特論 B				2			



### 3. 関連科目

- (1) 関連科目は任意に選択することができる。
- (2) 経済学部で開講している「経済学の考え方」(2単位)、「マクロ経済学入門」(2単位)、「会計入門Ⅰ」(2単位)、「会計入門Ⅱ」(2単位)、「経営学Ⅰ」(2単位)および「経営学Ⅱ」(2単位)を関連科目として、3科目6単位以内に限り規定外履修することができる。ただし、その際には、当該科目担当教員の許可を必要とする。
- (3) 自由科目には、関連科目として卒業に必要な単位数に算入できるものがある(第10表参照)。

第9表 (2022年度入学生より適用)

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
関 連 科 目	古典と思想	2				18単位以上 選択必修	
	思想と人間	2					
	倫理とは何か	2					
	倫理と社会	2					
	論理と真理	2					
	合理的思考	2					
	近世の日本史Ⅰ	2					
	近世の日本史Ⅱ	2					
	日本の文学Ⅰ	2					
	地域と風土	2					
	地域と生産	2					
	現代社会と法Ⅰ(日本国憲法)	2					
	現代社会と法Ⅱ(国際法を含む)	2					
	文化研究Ⅰ	1					
	文化研究Ⅱ	1					
	社会学A	2					
	社会学B	2					
	心理学Ⅰ	2					
	心理学Ⅱ	2					
	統計Ⅰ	2					
統計Ⅱ	2						
数学	4						

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
関 連 科 目	物理学	4					
	生物学 A	2					
	生物学 B	2					
	地学 A	2					
	地学 B	2					
	ジェンダー文化論	2					
	世界の中の日本 A	2					
	世界の中の日本 B	2					
	地域と大学	2					
	グローバル社会と女性	2					
	女性とダイバーシティ (女性の働き方)	2					
	女性とキャリアデザイン (女性と企業)	2					
	国際グローバル研修	2					
	自校史研究 (建学の精神と大学の理念)	2					
	コンピュータ・リテラシー I	2					
	論理回路入門		2				
	I T 論入門			2			
	データサイエンス入門	2					
	データサイエンスと数理統計			2			
	機械学習と AI			2			
データサイエンス特別講義 I			2				
データサイエンス特別講義 II			2				
応用 AI プログラミング			2				
社会科学におけるデータサイエンス			2				
ゲーム理論と AI			2				
定量的政策評価			2				
金融データ分析			2				
English Communication I A	2						
English Communication I B	2						
English Communication II A		2					

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
関 連 科 目	English Communication II B		2				
	資格英語 I A	2					
	資格英語 I B	2					
	資格英語 II A	2					
	資格英語 II B	2					
	資格英語 III A	2					
	資格英語 III B	2					
	教養英語 A	2					
	教養英語 B	2					
	Public Communication I A	2					
	Public Communication I B	2					
	Oral English I A	2					
	Oral English I B	2					
	Oral English II A		2				
	Oral English II B		2				
	留学英語 A	2					
	留学英語 B	2					
	英語集中トレーニング A	4					
	英語集中トレーニング B	4					
	海外研修 I		2				
	海外研修 II		2				
	海外研修 III		2				
	海外研修 IV		2				
	ドイツ語 I A	2					
	ドイツ語 I B	2					
	ドイツ語 II A		2				
	ドイツ語 II B		2				
	フランス語 I A	2					
	フランス語 I B	2					
	フランス語 II A		2				

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
関 連 科 目	フランス語ⅡB		2				
	中国語ⅠA	2					
	中国語ⅠB	2					
	中国語ⅡA		2				
	中国語ⅡB		2				
	中国語集中トレーニングⅠA	4					
	中国語集中トレーニングⅠB	4					
	中国語集中トレーニングⅡA		4				
	中国語集中トレーニングⅡB		4				
	スペイン語A	2					
	スペイン語B	2					
	韓国語ⅠA	2					
	韓国語ⅠB	2					
	韓国語ⅡA		2				
	韓国語ⅡB		2				
	ハンガリー語A	2					
	ハンガリー語B	2					
	ポーランド語A	2					
	ポーランド語B	2					
	チェコ語A	2					
	チェコ語B	2					
	マレー語A	2					
	マレー語B	2					
	生涯スポーツ論	2					
	スポーツ・マネジメント論Ⅰ				2		
	スポーツ・マネジメント論Ⅱ				2		
	健康スポーツⅠA	1					
	健康スポーツⅠB	1					
	健康スポーツⅡA	1					
	健康スポーツⅡB	1					

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				最低修得 単 位 数	備 考
		1	2	3	4		
関 連 科 目	健康スポーツⅢ A		1				留学生履修科目
	健康スポーツⅢ B		1				
	日本語特殊演習Ⅰ A			2			
	日本語特殊演習Ⅰ B			2			
	日本語特殊演習Ⅱ A			2			
	日本語特殊演習Ⅱ B			2			
	日本語特殊演習Ⅲ A			2			
	日本語特殊演習Ⅲ B			2			
	日本語特殊演習Ⅳ A			2			
日本語特殊演習Ⅳ B			2				

#### 4. 教職関連科目（自由科目）

教職関連科目は学生の志望により選択履修できる。これらの科目は自由科目であり、一部の科目を除き卒業に必要な単位数に算入されない。教職課程の詳細については教育職員免許状取得のための課程の項を参照すること。

第10表（2022年度入学生より適用）

系列	授 業 科 目	年次及び単位数				備 考
		1	2	3	4	
教 職 関 連 科 目	教育学概論A	2				*印の科目は関連科目の分野に含め卒業に必要な単位数に算入することができる
	教職論	2				
	生徒指導（進路指導の理論及び方法を含む）		2			
	教育心理学		2			
	教育学概論B		2			
	教育方法及び ICT 指導法		2			
	特別支援教育		2			
	教育史		2			
	道徳教育の理論と指導法		2			
	教育課程論（総合的な学習の時間の指導法を含む）		2			
	学校と図書館*		2			
	ジェンダー・教育・ダイバーシティ*		2			
	スチューデント・インターンシップⅠ*		1			
	スチューデント・インターンシップⅡ*		1			
	特別活動論			2		
	教育相談（カウンセリングを含む）			2		
	理科教育法A*			2		
	理科教育法B*			2		
	理科教育法C			2		
	理科教育法D			2		
介護等体験実習（事前及び事後指導を含む）			2			
教職実践演習（中・高）				2		
教育実習Ⅰ（事前及び事後指導を含む）				3		
教育実習Ⅱ				2		

#### 5. 履修単位の上限について（2010年度入学生より適用）

化学科の各年次には、次のように履修単位の上限が決まっているので、留意して履修申請を行い進級、卒業に必要な単位数を満たすこと。

年次 単位数	1年次	2年次	3年次	4年次
	履修単位の上限	49単位	48単位	48単位

- (1) 自由科目は履修上限単位に含まない。
- (2) 編転入生については履修上限単位数を超えて履修することを認めることがある。
- (3) JEAP 留学生（短期語学研修含む）の履修上限単位数については、別途定める。

## V 授業科目の履修申請

各年次において履修しようとする授業科目は、学年初めの指定された期日に所定の方法（オリエンテーションで説明する）で履修申請をしなければならない。履修申請は、年間の受講計画をたて、**単位を修得する意思表示をする**学年初めの重要な手続きである。この履修申請を間違えたために、授業科目の履修ができなくなり、その結果進級はもとより、卒業ができなくなる場合もあるので、以下に掲げる注意事項を厳守して、誤りのないように履修申請をすること。

(1) 履修申請は、当該学部・学科の授業時間割表を参照し、曜日、時限、コマ・コード、授業科目名、開講期間、担当教員等を確認し申請を行なうこと。

\* コマ・コードとは、授業時間割表に授業科目名等と共に記載されている番号で、その時限の授業科目の固有の番号である。

(2) 履修申請をした後は、授業科目および担当教員などの変更、追加、取消しなどは認められないので、申請前に授業時間割表と照合してもう一度確認するなど、細心の注意を払うこと。なお、履修照合日が設けられているので間違いなく登録されているかどうか必ず確認すること。

(3) 履修申請をしていない授業科目は受講しても単位は認められないので、授業科目の申請にあたっては進級や卒業に必要な単位の算定を慎重に行ない、修得単位数が不足しないように万全を期すこと。

(4) 同一時限に2つ以上の授業科目を履修することはできない。

(5) 単位を修得した授業科目は、再度履修することはできない。

(6) 指定された期日までに履修申請を行わない場合は、学業の意思なしとみなし、**退学を命ずる**（学則第69条）。

## VI 正規の履修からはずれる場合

### 1. 再履修

履修申請をして単位が修得できなかった授業科目については、次年度において再履修することができる。なお、再履修のクラスのある授業は、原則として再履修クラスで履修すること。

### 2. 規定外履修

該当するクラスの授業時間以外のクラスで受講せざるを得ない場合は、必ず学部事務室へ相談に行くこと。ただし、1年次生は原則として認めない。

## VII 試験について

### 1. 定期試験および臨時試験

(1) 試験は、定期試験および臨時試験とし、定期試験は原則として学期末および学年末に



行う。

- (2) いずれの授業科目も原則として授業時数の3分の1以上欠席した場合には、当該授業科目の受験資格を失う。ただし、病気または正当な理由による長期欠席の場合には、特別に考慮されることがある。
- (3) 試験時間割は、掲示により通知する。
- (4) 授業科目によっては論文（レポート）提出によって試験に代える場合がある。

## 2. 試験に関する注意

- (1) 試験場内では、すべて監督者の指示に従わなければならない。
- (2) 受験者は、試験開始前に試験場に入らなければならない。
- (3) 試験開始後は遅刻者の入場は認められない。ただし、特別の事由により遅刻した者は、試験開始後20分以内までは入室を認めることがある。
- (4) 受験者は、試験開始後25分間は退場することができない。
- (5) 受験者は、必ず学生証を机上的見やすい所に置くこと。
- (6) 試験場では持込みを許されたもの以外はカバンの中に入れるか、机の中にしまうこと。  
また、携帯電話等の通信機器は、電源を切りカバンの中に入れること。
- (7) 試験場では、一切物品の貸借は許されない。  
(ノート、参考書等の使用を許された場合には自分のものを使用すること)
- (8) 答案用紙には、必ず学籍番号、氏名を記入すること。  
答案用紙を場外に持ち出すことは許されない。
- (9) 受験者は、試験中監督者の許可を得ないで、試験場を出ることはできない。
- (10) 試験場内の座席は、監督者の指示に従うこと。
- (11) その期の授業料未納者は受験できない。
- (12) 病気・事故その他正当な事由によって受験できなかった者は、欠席届に詳細な理由を記し、かつ科目名・担当者・クラス別に明記し、保証人連署のうえ、病気の場合は診断書を、その他の場合は事故を証明する書類、その他正当な事由を証明する書類を添付して、早急に学部事務室に提出すること。

## 3. 追試験

- (1) 追試験は、やむを得ない事情によって定期試験を受験できなかった者に対し、原則として学期末または学年末に実施する。
- (2) 追試験を希望する者は、正当な事由を証明する書面をもって速やかに学部事務室に届け出ること。

- (3) 追試験は、成績通知書の当該科目にTの表示がなされた場合に限り受験することができる。
- (4) 追試験は、履修（再履修を含む）した年度に限り受験することができる。
- (5) 追試験を受験しようとする者は、「追試験受験願」を学部事務室に提出しなければならない。
- (6) 追試験の受験料は、1科目につき200円とする。

#### 4. 再試験

- (1) 再試験は、原則として学期末または学年末に実施する。ただし、授業科目によっては再試験を行わない場合もある。
- (2) 定期試験の結果、不合格（この場合は、成績通知書の当該科目にFの表示がなされる）となった授業科目のある者は、当該授業科目の担当教員が再試験を行う場合、受験することができる。
- (3) 再試験は、履修（再履修を含む）した年度に限り受験することができる。
- (4) 再試験の受験を許可された者は、「再試験受験願」を学部事務室に提出しなければならない。
- (5) 再試験の受験料は、1科目につき1,000円とする。

#### 5. 試験における不正行為の懲戒について

試験における不正行為は厳禁とし、不正行為を行った受験生は厳正に処分する。不正行為に関する定めは本書「城西大学 学内試験等における不正行為の取り扱い指針」を参照すること。

### Ⅷ 成績発表

- 1. 成績発表は学部事務室において本人に成績通知書を交付することによって行う。学部事務室の指示に従って、必ず交付を受けること。その際、学生証を提示すること。指定された期日以外には交付しない。  
なお、前期末、学年末の成績はweb上で発表する。
- 2. 成績の評価は、下記IX GPAについての「GPの基準」を参照のこと。
- 3. 単位を修得した科目の再評価は行わない。
- 4. 成績についての疑問、質問等は早急に学部事務室に問合せること。
- 5. 事故、病気等により指定日に成績通知書の交付を受けられない場合は、代理人を定め、成績通知書の交付を受けること。  
ただし、その場合は学生証および委任状を必要とする。

## Ⅸ GPAについて

本学では、「GPA (Grade Point Average)」制度を導入している。以下に示すことを十分理解しておくこと。

### 1. GPAの意味

- (1) GPAの値とは、自分の成績を数値化したものである。学期毎や学年毎のGPAや入学からの通算のGPAを比較することで、自らの学習成果の推移を知ることができる。
- (2) GPAの値には、T評価、F評価およびZ評価を受けた科目についても計算に組み入れられる。したがって、安易に考えて開講期間の半ばで授業参加をやめた場合などは低い値となる。

### 2. GPAの計算

「GPA」は、下記の基準に基づいて評価した成績のGP (Grade Point) に各科目の単位数を掛けて合計し、履修登録した科目の単位数の合計で割った1単位あたりのGP平均値 (Average) である。仮に、履修した科目の成績がすべて「S」評価の場合はGPAの数値は4になり、すべての成績が「C」の場合は1となる。

#### 「GPの基準」

成績評価 (表示)	評価の基準 (点)	合否	GP
S	100 ~ 90	合格	4
A	89 ~ 80	合格	3
B	79 ~ 70	合格	2
C	69 ~ 60	合格	1
F	59 以下	不合格	0
T	追試験受験可	未受験 (不合格)	0
Z	失格	不合格	0

$$\text{GPA} = \frac{[\text{GP} \times \text{当該科目の単位数}] \text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計 (T評価, F評価, Z評価科目を含む)}}$$

(注) 不合格となった科目を次年度以降に再履修して合格した場合には、成績は上書きされ、過去の不合格の成績は、GPA計算式に算入されない。

(注) GPA計算式に算入されない科目もある。